

ポビドンヨード **ヨウ素**を含む
うがい薬の使用には、注意が必要
@こども、妊婦、授乳婦、長期の使用で甲状腺への影響

ポビドンヨードはヨウ素（ヨード）の化合物で、ポリビニルピロリドンという成分とヨウ素から合成され、ヨウ素と同じように、殺菌消毒作用があります。
ポビドンヨードは、ヨウ素の1/10のヨウ素量に相当します。

特徴

●有効成分ポビドンヨードが、**ヨウ素を遊離し、各種の細菌、真菌、ウイルスなど広範囲の微生物**に対して迅速な殺菌・消毒効果を発揮します。

2歳未満のお子様には、お勧めではありません（のどスプレーでは禁忌）

妊婦・授乳の方にはお勧めではありません。（のどスプレーでは禁忌）

長時間続けて使用した場合、胎児、赤ちゃんへ、有効成分のヨウ素（ヨード）が移行し、甲状腺に蓄積する可能性があります。

ヨウ素（ヨード）を配合していない製品は
用法・用量を守って使用いただければ妊婦・授乳中の方にもお使いいただけます。

ポピドンヨード **ヨウ素**を含む
うがい薬の使用には、注意が必要
@こども、妊婦、授乳婦、長期の使用で甲状腺への影響

ヨウ素はワカメなどの海藻にも多く含まれる天然成分です。
とても強い殺菌力をもっています
(コロナウイルス以外にもインフルエンザ/RS/アデツウイルス等)
脈拍や体温などに影響する甲状腺ホルモンの材料としても体内で
使われます。ただし取りすぎで注意が必要な成分ということになります

ヨウ素の摂りすぎにより、甲状腺ホルモンの分泌異常になる可能性も
あります。

ヨウ素の殺菌力は強力で濃度100%だと目に入れば失明する恐れがある
とも言われています。希釈濃度や使用頻度を誤れば粘膜障害を発症します。
うがい薬といえども、多頻度に使用すると粘膜に残ることもあります

赤ちゃんの甲状腺機能異常につながります。胎盤を通過します。
そのため「妊婦 #授乳婦 は控えることと、子とも も注意が必要」
(ヨウ素は体格や精神などの発達に影響するミネラルです)

ポピドンヨード **ヨウ素**を含む うがい薬の使用には、注意が必要

@こども、妊婦、授乳婦、長期の使用で甲状腺への影響

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師または登録販売者にご相談ください
 - (1) 薬などによりアレルギー症状をおこしたことがある人
 - (2) 次の症状のある人
口内のひどいただれ
 - (3) 次の診断を受けた人
甲状腺機能障害
2. 使用後、**次の症状があらわれた場合は副作用の可能性**があるので、直ちに使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者にご相談ください

【関係部位：症状】

皮膚：発疹・発赤、かゆみ

口：あれ、しみる、灼熱感、刺激感

消化器：吐き気

その他：不快感

まれに次の重篤な症状がおこることがあります。
その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

【症状の名称：症状】

ショック（アナフィラキシー）：使用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁などがあらわれる。

3. 5～6日間使用しても症状がよくなる場合は使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者にご相談ください